



「ネットワークの力で暮らしを守り抜いてきた」と強調し支援を訴える高木政調会長[㊦]と、こかし義広府議[㊧]、中村まり氏[㊨]＝26日 京都市南区

公明党の高木陽介政務調査会長は26日、統一地方選挙で激戦が予想される京都、大阪府の各地で街頭演説を行い、「公明党はネットワークで暮らしを守り抜いてきた」と強調した。

京都市南区では、電気・都市ガス代の負担軽減策について、公明党が岸田文雄首相に直接、要請し実現した経緯を紹介。子育て支援に関しては、児童手当拡充をめざすとし、「高齢世代の社会保障の安心のために少子化対策は必要だ」と述べた。

こかし義広府議(府議選予定候補)、中村まり氏(市議選予定候補)が決意を訴えた。

このほか高木政調会長は、大阪市議選・山本とも子(北区)、同市議選・ささき清美(都島区)、大阪府議選・吉田ただのり(高槻市・島本町)、京都府議選・大河内あきら(京都市右京区)、京都市議選・ゆあさ光彦(右京区)ら各予定候補への支援を呼び掛けた。

また、高木政調会長は25日夜、千葉県松戸市で行われた時局講演会に出席。秋林たかし県議、しのだ哲弥党県青年局長(ともに県議選予定候補)への支援を訴えた。